

**製品名: B4GT7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07414**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	B4GALT7 XGALT1 UNQ748/PRO1478
別名	
遺伝子 ID	11285.0
SwissProt ID	Q9UBV7
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

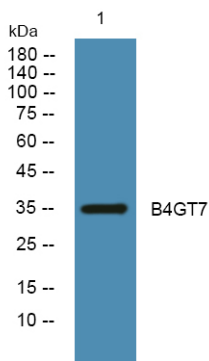
この遺伝子は、 $\beta$ -1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ ( $\beta$ 4GalT) ファミリーのメンバーです。ファミリーのメンバーは、供与基質 UDP-ガラクトースに特異的に特異性を持つと思われる II 型膜結合型糖タンパク質をコードします。各  $\beta$ 4GalT メンバーは、異なる複

合糖質および糖構造の生合成において明確な機能を有します。II型膜タンパク質である $\beta$ 4GalTは、タンパク質をゴルジ体へ誘導するN末端疎水性シグナル配列を有し、ゴルジ体は切断されずに膜貫通アンカーとして機能します。この遺伝子によってコードされる酵素は、プロテオグリカンに見られる一般的な糖-タンパク質結合 (GlcA- $\beta$ 1,3-Gal- $\beta$ 1,3-Gal- $\beta$ 1,4-Xyl- $\beta$ 1-O-Ser) の最初のガラクトースを付加します。この酵素は、beta4GalT1-beta4GalT6に見られる保存された Cys 残基を欠き、トランスゴルジ体ではなくシスゴルジ体に位置する点で、他の beta4GalT とは異なります。触媒活性: UDP-ガラクトース + O-beta-D-キシロシルタンパク質 = UDP + 4-beta-D-ガラクトシル-O-beta-D-キシロシルタンパク質。補因子: マンガン。疾患: B4GALT7の欠陥は、早老性エーラス・ダンロス症候群 (EDS) [MIM:130070]の原因です。EDSPはエーラス・ダンロス症候群の異型であり、早老性顔貌、軽度の精神遅滞、低身長、皮膚過伸展性、中等度の皮膚脆弱性、主に指の関節過可動性を特徴とする。機能:プロテオグリカンの四糖結合領域の生合成に必要であり、特に皮膚線維芽細胞の小型プロテオグリカンに必要である。オンライン情報: $\beta$ -1,4-ガラクトシルトランスフェラーゼ 7, オンライン情報:GlycoGene データベース,経路:タンパク質修飾; タンパク質グリコシル化,類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 7ファミリーに属する。細胞内局在:ゴルジ体シス槽,組織特異性:心臓、脾臓、肝臓で高発現、胎盤、腎臓で中発現、脳、骨格筋、肺で低発現

## 研究分野

コンドロイチン硫酸生合成;ヘパラン硫酸生合成;

## 画像データ



K562 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、B4GT7 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩